

一般質問(要旨)



山野井 浩議員
いばらき自民党
つくばみらい市選出

医療的ケア児とその家族への支援

議員 実態調査の結果を踏まえ、今後開催される協議会は、医療的ケア児の未来を左右する重要なものになる。幅広い関係者と一緒になって検討を進める必要があると思うが、どう取り組んでいくのか。

保健福祉部福祉担当部長

議員 葉物野菜を中心に供給過剰による価格の低迷が目立っているが、露地野菜の生産振興に今後どう取り組んでいくのか。

露地野菜の生産振興

議員 農林水産部長 安定した販路の確保や差別化商品の開発、出荷予測システム等の導入など、新たな施策展開により、国内外の需要者や消費者から選ばれ産地づくりを進め、スピード感を持って露地野菜農家の所得向上を図っていく。



さらなる露地野菜産地の振興を



水柿 一俊議員
いばらき自民党
筑西市選出

新型コロナウイルス感染症の収束後を見据えた外国人材確保

議員 国の水際対策により外国人の入国が制限されてきたことから、県内産業への影響を危惧している。今後、外国人材確保に向けてどのように取り組んでいくのか。

産業戦略部長

議員 外国人材に選ばれた茨城づくりに取り組むため、外国人材支援センターによる県内事業者の受け入れ支援などを行ってきた。さらに、ベトナム、モンゴル、インドネシアの学生向けに説明会を行い採用ルートの構築を図るなど、外国人材確保を推進する。

安全運転への意識を高める取組

議員 本県では信号機のない横断歩道での車の停止率が低いなどの課題があるが、運転者の安全運転への意識をどう高めるか。

警察本部長

議員 厳正な検挙・取り締まりと効果的な情報発信の両面から推進する。例えば移動式オービスを機動的に運用し速度違反などを取り締まるほか、動画で分かりやすいメッセージを発信するなど、痛ましい交通事故の絶無に向け取り組む。

警察本部長

(ほかに、がん検診の受診率向上、県道筑西つくば線バイパス及び養蚕橋の整備なども質問)



モンゴルでの県内企業の説明会の様子



外塚 潔議員
いばらき自民党
かすみがうら市選出

通学路交通安全プログラムに基づき迅速な対策実施

議員 子どもは地域の宝で、安全な通学路の迅速な整備は、行政の最重要業務の1つである。通学路交通安全プログラムに基づく対策箇所を優先付けや予算付けの課題をどう認識し、どう取り組むか。

警察本部長

議員 対策箇所ごとに、パトロールや交通指導取り締まりなどの実施、信号機や横断歩道の新設などの対策を検討し、実施可能なものから順次着手している。新たな対策必要箇所も積極的に検討し、通学路安全対策に万全を期す。

国道354号急カーブ区間の緩和対策の進捗状況と今後の見通し

議員 かすみがうら市戸崎地区の国道354号のカーブ区間は交通事故が絶えず、地元では魔のカーブと言われてきた。早期のカーブ緩和対策完了に向けて取り組んでもらいたい。進捗と見通しは。

土木部長

議員 カープの見通しを改善するため、令和元年度から道路改良に着手し、現在、電柱の移設や排水施設の設置などを行っている。その後、舗装などを行い、今年度末には工事完了の見込みである。



地域住民に見守られ通学する子どもたち



磯崎 達也議員
いばらき自民党
ひたちなか市選出

ロック・イン・ジャパン・フェスティバルの会場変更の受け止めとひたちなか地域の観光誘客の推進

議員 年間70億円以上と言われる経済への打撃は計り知れず、新たな音楽イベントの成長とロック・イン・ジャパン・フェスティバルがいつでも戻れるよう、双方の後押しを要望する。会場変更をどう受け止め、民間観光イベントも含めた観光誘客にどう取り組むか。

知事

議員 ロック・イン・ジャパン・フェスティバルの次期開催を心待ちにしたい。観光地域として価値を高める必要があり、民間資本も活用して魅力向上に取り組む。

不登校問題への対応

議員 教師と生徒の信頼関係が崩れ、不登校に陥ってしまうような事例も耳にする。生徒の情報共有をしていけば不登校から抜け出せるチャンスがあるにもかかわらず、見失っている事案があるのでは。

教育長

議員 児童生徒の声にこれまで以上に耳を傾け、思いを理解し、良好な関係を築くことが重要である。相談体制充実とデータベース化による情報の共有化に取り組む。

教育長

(ほかに、ひたちなか大洗リゾーツ構想の更なる推進、教員不足の解消なども質問)



地元経済に多大な恩恵をもたらすロック・イン・ジャパン・フェスティバル

議会人事

予算特別委員会

審査の一体性を確保するために設置される委員会です。

Table with 2 columns of committee members: 委員長 石井 邦一, 副委員長 中村 修, 委員 葉梨 衛, 細谷 典幸, 山岡 恒夫, 川口 政弥, 下路 健次郎, 飯田 智男, 外塚 潔, 水柿 一俊, 高橋 勝則

議員辞職など

3月2日付けで田口伸一議員(鹿嶋市選挙区)が、3月7日付けで島田幸三議員(小美玉市選挙区)が、4月15日付けで加藤明良議員(水戸市・城里町選挙区)が辞職されました。また、情報委員会委員であった加藤明良議員の辞職に伴い、4月16日付けで外塚潔議員が同委員会の委員に選任されました。

◆新議員

4月17日の茨城県議会議員鹿嶋市選挙区補欠選挙において、小松崎敏紀議員が当選され、同18日付けで営業戦略農林水産委員会の委員に選任されました。

「新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会」を設置しました

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、県の命と健康を守るとともに、疲弊した社会経済活動を立て直すため、「ウィズコロナ・ポストコロナを見据えた県の活性化に向けた諸方策の在り方」について調査・検討を行う「新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会」を、3月24日の本会議において設置しました。構成する委員15名は次のとおりです。

Table with 2 columns of committee members: 委員長 常井 洋治, 副委員長 岡田 拓也, 委員 海野 透, 西條 昌良, 森田 悦男, 戸井田 和之, 下路 健次郎, 飯田 智男, 長谷川 重幸, 石塚 隼人, 大瀧 愛一郎, 二川 英俊, 村本 修司, 江尻 加那子, 設楽 詠美子